

春日警察署の交通指導取締り指針

次の路線、地域、時間帯を重点に交通指導取締り活動を推進します。

なお、県警の活動重点である「飲酒運転・交通事故抑止対策の推進」に基づき、管内全域で、時間帯に拘わらず、飲酒運転や横断歩行者等妨害、速度超過などの重大事故に直結するおそれの高い交通違反に重点を置いた交通指導取締りを強化しています。

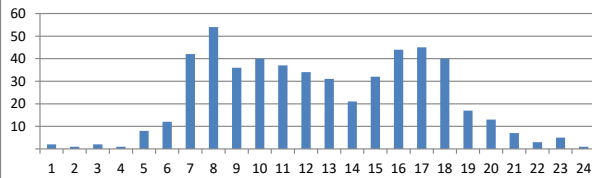
※ 重点以外の交通違反、取締り路線、地域、時間帯であっても、運転者の遵法精神を喚起するための交通指導取締りをランダムに取り入れることで、交通事故の抑止を目指します。

速度超過の取締り重点

	路線・地域	時間帯	規制速度
速度超過	県道31号 (福岡筑紫野線)	7~14、15~21	40~50km/h
	県道505号 (板付牛頸筑紫野線)	8~9、11~12、18~21	50km/h
	国道3号	7~10、16~21	法定速度
	大野交番管内	7~12、13~19	30~50km/h

管内の交通事故発生状況及び重点路線等の選定理由

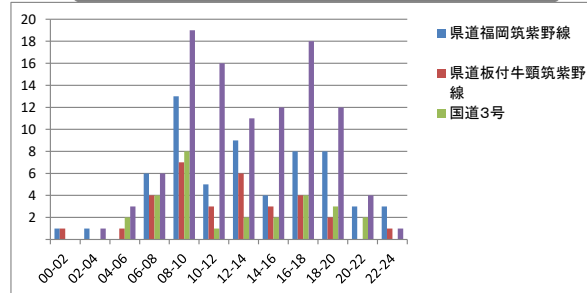
管内の交通事故発生状況



交通事故発生状況

- 管内では、午前8時台に最も多く交通事故が発生しており、全体として午前7時から午前10時、午後4時から午後6時の時間帯に事故が多発しています。
- 事故多発路線は、
県道福岡筑紫野線、県道板付牛頸筑紫野線、国道3号
で、上記3路線で管内の交通事故全体の約23%が発生しています。
- 事故多発地域は、
那珂川警部交番管内
で、管内の事故の約20%が発生しています。
- 事故多発地域としては、
春日北小学校校区
で、同小学校の通学路周辺で事故が多発しています。

路線等別交通事故発生状況



重点路線等の選定理由

- 【県道福岡筑紫野線、県道板付牛頸筑紫野線、国道3号】
上記重点路線は管内の主要道路で人車ともに通行量が多く、大規模な交差点が連続し、速度超過に起因する事故が発生すれば大事故へつながることから、速度超過の取締り重点路線とします。
- 重点地域
大野交番管内は、交通事故が増加している地域であり、速度取締りの重点地域とします。

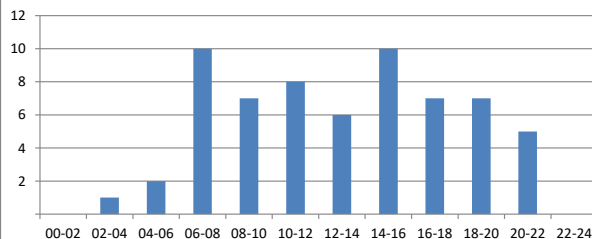
※ 児童、高齢者の安全な通行を確保するため管内の通学路、生活道路においても取締りを強化します。

横断歩行者等妨害等の取締り重点

	路線・地域	時間帯
横断歩行者等妨害等	大野交番管内	6~9、11~16、17~19
	那珂川警部交番管内	7~9、13~16、18~19

車両対歩行者による交通事故発生状況及び重点路線等の選定理由

車両対歩行者の交通事故発生状況



重点路線等の選定理由

- 午前6時から午前8時、午前10時から午後0時、午後2時から午後4時の時間帯に事故が多発しています。
- 事故類型別で見ると、横断歩道を横断中による事故が最も多く発生しています。
- 大野交番及び那珂川警部交番管内では、車両対歩行者による交通事故の発生が多く、横断歩道を横断中の交通多く事故が発生していることから、重点路線・重点地域とします。

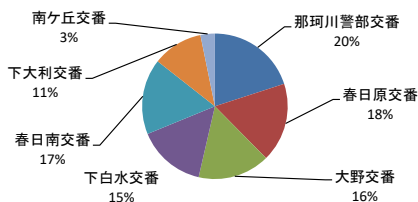
※ 交通事故の発生状況、取締り要望等の状況によっては、上記以外の地域、時間帯であっても取締りを強化します。

自転車の取締り重点

	路線・地域	時間帯	取締り罪種
自 転 車	春日原交番	7～10、17～19	信号無視、一時停止、並進等
	那珂川警部交番	7～10、12～13、14～19	信号無視、一時停止、通行区分等

自転車関連事故の発生状況及び重点路線等の選定理由

交番別自転車関連事故発生状況



重点路線等の選定理由

- 春日原交番管内は、通勤・通学などの自転車利用者が多いことから重点地域とします。
- 那珂川警部交番管内は、自転車に関連する事故の発生件数が多いことから重点地域とします。

※ 交通事故の発生状況、取締り要望等の状況によっては、上記以外の地域、時間帯であっても取締りを強化します。

上記以外にも、悪質・危険な違反に重点を置いた交通指導取締りを管内全域で実施しています。

